

第10回（仮称）下井草まちづくりラボ【令和8年1月10日（土）】

テーマ：みどりと景観

区からみどりの現状の説明をした後、関教授からみどりと景観に関するミニ講義を受け、みどりの景観や維持管理に等について理解を深めました。

その後、地図と付箋を用いて駅周辺におけるみどりと景観の現状を整理し、現況写真や事例写真をもとに「下井草らしい」みどりと景観のあり方についてグループワークを行いました。

【現況のみどりについての説明資料(区説明資料)】

【杉並区内の町丁目別「面積当たり緑被率」ランキング（全139町丁目）】

順位	町丁目	面積(ha)	項目	樹木被覆率	草地	農地	屋上緑化	裸地	水面	建物・道路等	
1	大塚	二丁目	30.46	面積(ha)	23.99	1.03	0.00	0.02	14.91	2.17	0.86
				割合(%)	78.5	3.1	0.0	0.07	45.9	7.1	2.3
2	成田西	三丁目	25.91	面積(ha)	9.95	1.12	0.31	0.00	11.38	1.19	0.86
				割合(%)	38.4	4.3	1.2	0.0	43.9	4.6	3.3
3	井川	三丁目	11.75	面積(ha)	2.82	1.83	0.00	0.48	5.13	0.00	0.00
				割合(%)	23.98	15.58	0.00	4.09	43.68	0.00	0.00
4	成田東	四丁目	15.13	面積(ha)	4.81	1.75	0.00	0.02	6.58	1.06	0.00
				割合(%)	31.78	11.56	0.00	0.13	43.5	7.00	0.00
5	井川東	二丁目	37.85	面積(ha)	12.21	2.32	0.42	0.02	14.96	0.31	0.27
				割合(%)	32.26	6.12	1.10	0.04	39.54	0.81	0.72
6	井川南	一丁目	34.67	面積(ha)	10.46	2.46	0.09	0.49	13.50	2.12	0.47
				割合(%)	30.18	7.09	0.25	1.42	38.66	6.13	1.35
7	久我山	二丁目	37.68	面積(ha)	9.48	3.34	0.34	0.00	14.16	2.86	0.34
				割合(%)	24.89	8.87	0.90	0.01	37.33	7.60	0.90
8	井川北	二丁目	22.17	面積(ha)	6.36	1.78	0.00	0.01	8.15	0.27	0.10
				割合(%)	28.67	8.02	0.00	0.04	36.76	1.24	0.44
9	大塚	一丁目	22.36	面積(ha)	5.84	2.35	0.00	0.03	8.22	1.50	0.68
				割合(%)	26.11	10.52	0.00	0.12	36.78	6.70	3.02
10	成田東	一丁目	24.95	面積(ha)	7.68	2.02	0.00	0.01	9.70	0.67	0.66
				割合(%)	30.77	8.08	0.00	0.03	38.88	2.70	2.65

町丁目別「面積当たり緑被率」とは・・・

町丁目別における地域全体面積に対して、

①樹木

②草地

③農地

④屋上緑化など

みどりに覆われた土地

(緑被図における■)が占める割合のこと



引用元：みどりの実態調査 令和4年度杉並区みどりの実態調査報告書（令和5年3月）

①

【杉並区内の町丁目別「面積当たり緑被率」ランキング（全139町丁目）】

下井草・井草地域抜粋（黄色：下井草駅周辺地域）

順位	町丁目	面積(ha)	項目	緑被地			裸地	水面	建物・道路等		
				樹木被覆地	草地	農地					
94	井草	一丁目	24.54	面積(ha)	3.34	0.42	0.55	0.01	4.31	0.63	0.00
				割合(%)	13.60	1.70	2.22	0.06	17.58	2.57	0.00
39	井草	二丁目	25.22	面積(ha)	4.25	0.36	1.39	0.07	6.08	0.69	0.00
				割合(%)	16.85	1.45	5.53	0.28	24.10	2.73	0.00
37	井草	三丁目	18.80	面積(ha)	2.85	0.33	1.41	0.01	4.61	0.17	0.00
				割合(%)	15.15	1.78	7.49	0.08	24.49	0.88	0.00
16	井草	四丁目	18.54	面積(ha)	4.39	0.65	0.59	0.22	5.85	1.14	0.02
				割合(%)	23.70	3.50	3.17	1.17	31.54	6.12	0.11
17	井草	五丁目	14.99	面積(ha)	2.47	0.40	1.82	0.01	4.69	0.28	0.00
				割合(%)	16.45	2.65	12.11	0.06	31.27	1.85	0.00
101	下井草	一丁目	17.71	面積(ha)	2.80	0.13	0.00	0.03	2.96	0.69	0.00
				割合(%)	15.79	0.75	0.00	0.19	16.73	3.92	0.00
89	下井草	二丁目	25.80	面積(ha)	4.10	0.32	0.17	0.01	4.59	0.41	0.10
				割合(%)	15.88	1.24	0.64	0.03	17.80	1.58	0.40
100	下井草	三丁目	26.91	面積(ha)	3.60	0.41	0.48	0.01	4.51	0.45	0.05
				割合(%)	13.39	1.54	1.78	0.03	16.75	1.66	0.19
40	下井草	四丁目	26.34	面積(ha)	5.27	0.82	0.11	0.05	6.25	0.82	0.00
				割合(%)	20.00	3.10	0.42	0.20	23.72	3.10	0.00
75	下井草	五丁目	15.13	面積(ha)	2.58	0.17	0.21	0.02	2.98	0.22	0.00
				割合(%)	17.05	1.15	1.40	0.10	19.70	1.48	0.00

引用元：みどりの実態調査 令和4年度杉並区みどりの実態調査報告書（令和5年3月）

②

【現況の景観についての説明資料（区説明資料）】

【市街地特性に応じた地域区分図】

杉並区では景観計画を策定し、地域の特性に応じた良好な景観づくりを進めています。まちの景観は、ゆとりある住宅地やにぎわいを感じられる商業地など、地区ごとさまさまな特性を持ちながら形成されています。こうした市街地の特性を以下のとおり区分し、それぞれに応じた目標や方針を定めています。



- 凡例
- 水とみどりの景観形成重点地区
 - 低密度住宅地
 - 中低密度住宅地
 - 駅周辺等の商業地
 - 幹線道路沿道

引用元：杉並区景観計画（令和7年4月）

①

【みどりと景観についての講義資料（関教授講義資料）】

駅まち再構築

交通結節機能

- ・車・人・モノの流れのネットワークをつくる（交通ネットワーク、歩行動線、バリアフリー）
- ・まちの拡張の方向やコンパクト化を考える

市街地拠点機能

- ・駅前広場を中心としたにぎわいの拠点づくり（広場、交通プール、公共施設）
- ・休憩施設、隙間をつくる（まちのサイズ、まちの特徴、まちの居場所）

景観機能

- ・駅を中心とした旧早稲田通から景観（斜めに走る旧早稲田通から眺められる景観）
- ・豊かな緑と生産緑地との関係

交流機能

- ・区民の交流の場としての機能（公民館、図書館、出張所、大広間等）

防災機能

- ・災害時の避難所としての機能（大広間、キッチン、災害トイレ）

サービス機能

- ・商業施設の誘致（スーパー、銀行、医療相談他）
- ・不動産の誘致（大規模開発計画）
- ⇒大きく変わろうとするチャンス

①

緑の考え方

生態系保全の緑化



生業としての緑化



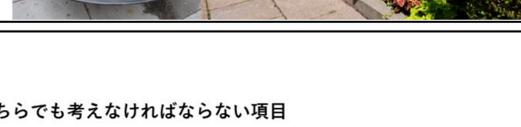
公園の緑化



街路の緑化



公共空間の緑化



②

まとめ

高架橋案×地下案はどちらでも考えなければならない項目

- ①バスルートと一方通行の方向性確認する。
- ・時計回り画基本
 - ・う回路の大きさ（大きすぎず、小さすぎず）

- ②バスプールの形状の方向性確認する。
- ・どちらでも対応可能な形状
 - ・高架橋案では、橋脚位置が課題となる形状

- ③広場のデザインは、まちの印象を決定する大切なもの
- ・高架橋は、便利な屋根と考える。
 - ・高架橋案の場合は、駅の顔の向きを慎重に考える。
 - ・地下案は、オープン的な空間となるため駅・駅舎・広場の連結を大切に。
 - ・休憩スペース、待ち合わせスペースとして、快適な空間を創造する。
 - ・緑地、樹木の関係と硬い舗装とのメリハリが大切

③

【市街地特性別の目標と方針（中低密度住宅地）】

【目標】

みどりを増やし、安全で便利なまちを目指し、中層又は低層の共同住宅を基調とした落ち着いたある住宅地として景観形成を図ります。



【方針】

- まちなみに潤いを与えます。
- 生け垣や塀の緑化により道路沿いのみどりを育みます。
- 敷地内の小さなスペースにもみどりを取り入れます。
- 現在ある樹木の確保に努めます。
- 良好な住環境を整えます。
- 配置の工夫により、道路と敷地境界との間の空間の確保に努めます。
- 駐車場や設備類は目立たないような工夫をします。
- 太陽光パネルは設置位置や色など、景観を損なわないような工夫をします。
- 住宅団地の更新の際は、道路・公園などの公共施設の整備や防災空間としてのまとまりのあるオープンスペースの確保に努めます。
- 敷地内にごみ・資源の保管場所を設置する場合は、目立たないような工夫をします。
- 周辺のまちなみとの調和を図ります。
- 外壁は長大な壁面を避けるなど、視線が抜ける工夫をします。
- 周辺の建物と調和した外壁・屋根の色やデザインを工夫します。

引用元：杉並区景観計画（令和7年4月）

②

【市街地特性別の目標と方針（駅周辺等の商業地）】

【目標】

駅周辺の商店街に代表されるにぎわいと活力を感じられるまちなみの景観形成を図ります。



【方針】

- にぎわいを演出します。
- 1、2階部分への商業施設の入居誘導に努めます。
- 壁面の位置や軒高をそろえます。
- 敷地内にごみ・資源の保管場所を設置する場合は、目立たないような工夫をします。
- 楽しく安心して買物できる空間を整えます。
- 配置の工夫により空間を確保し、みどりを取り入れることに努めます。
- 十分な駐輪・駐車スペースの確保に努めます。
- ベンチを置くなど、休憩スペースの確保に努めます。
- 周辺のまちなみとの調和を図ります。
- 周辺の建物と調和した色彩やデザインを工夫します。
- 看板や広告物の集約に努め、落ち着いたデザインを基調とします。

引用元：杉並区景観計画（令和7年4月）

③

【駅周辺（駅前広場）におけるみどりと景観のグループワーク結果】

【付箋凡例】

魅力あるみどりと景観

課題のあるみどりと景観

みどりを充実させるアイデア

1班 キャッチフレーズ：空と緑の町下井草



- 遠景と近景の両方の視点を大切にし、駅を出たときには、花やみどりが広がり、さらに視線の先には空（夕日）や大きな木が見えるような下井草のまちへの想いをもとにキャッチフレーズを考案した。
- 大きな屋敷林や井草観音堂などの歴史的建造物等を維持していくことが大事。
- 下井草は、公園等の公共のみどりが少ないため、植物愛好家をはじめとした地域住民による団体を設立し、公共用地だけでなく、民有地も含め、地域の活動を通じてまちのみどりを増やしていきたい。

2班 キャッチフレーズ：ともにつくるみどりのまち



- 公園の緑が少なく、日影がないため、夏は暑すぎて公園に誰もいない。
- みどりのある家が多く、生垣は現状のまま残すべきである。
- スペースが少なくても、小さなプランターとベンチを設け、ひと息付ける空間になると良い。
- 駅前の桜は、下井草の象徴的な木である。桜以外の植物、季節の花等があると良い。
（例：ツツジ）
- 商店街にみどりが少ないため、少量ずつでもみどりを配置したい。

3班 キャッチフレーズ：みんなで作る緑の輪



- 駅舎からの景色として2階のコンコースから夕日と富士山が見える。
- プランターなどを設置し、小学生・中学生などと連携してみどりの維持管理を行う。
- 北側コミュニティ道路をくねくね道として整備し、車のスピードを抑制して道路の両端にみどりを増やす。
- 駅をデッキにした場合は、遠くのみどりを増やし、みどりの景観を充実させたい。
- バス停の位置を変更して、バスの配置とみどりの景観を計画的に組み合わせる。

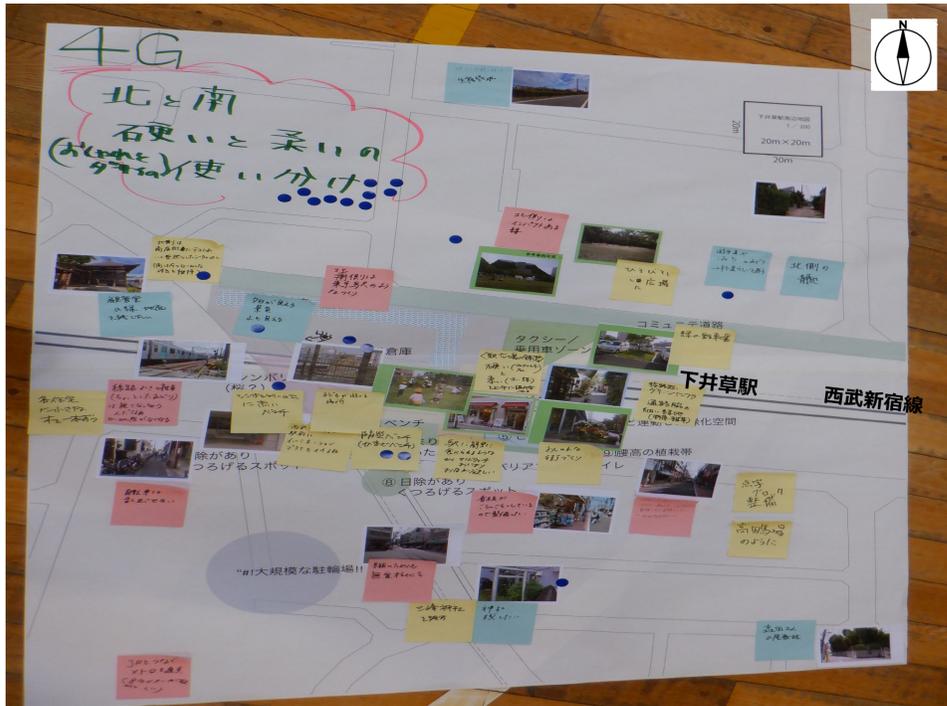
【付箋凡例】

魅力あるみどりと景観

課題のあるみどりと景観

みどりを充実させるアイデア

4班 キャッチフレーズ：北と南 硬いと柔らかい (おしゃれとダサい)の使い分け



- 夕日が見え、山も見える。
- 各住宅に小さな木を1本ずつ植える取組みをする。
- 北側の商店街を、若年層向けに、きれいなお店や新たにお店を始められるような環境にしたい。
- 駅前広場には、桜の下に赤いベンチを設置する。また、子どもが遊べる空間にし、防災ベンチ（かまどベンチ）を設置する。
- 南口商店街は現在の西武新宿線沿線らしいローカルな雰囲気を残したい。
- 構造形式に関わらず側道や線路跡地にはグリーンインフラとして通路脇に細い緑地（野菜・雑草）を設けたい。

6班 キャッチフレーズ：今あるみどりを大切に守る!!



- 下井草は公的な隙間はない。増やすことも大事だが、いかに今ある緑を守り、維持していくかが大事。
- 小規模宅地及び私道に面する生垣などの管理に対する助成制度がないので、一番支援を行うべきである。
- 昔は一番街はにぎわいの通りであったが、現在は、その面影はないため、一番街の歩行者天国は中止すべきである。

8班 キャッチフレーズ：四季つながる回遊空間



- 駅北口を降りた時の視線がローソンや三徳であり、駅の入り口としてのみどりが少ない。
- 休むスペースがもっと必要である。
- 駐輪場や駐車場がコンクリートやアスファルト舗装されており、殺風景である。
- 駅前広場に春のシンボルツリーの桜があるが、もっとみどりが欲しい。
- 駅南口を降りた時の視線が日高屋やバス停であり冬のシンボルツリー（クリスマスツリー）を設けたい。
- 「つながロード」でにぎわいの動線とし、秋のシンボルツリー（イチョウ）を植える。
- 商店街の中にみどりがほとんどないため、日陰で休めるベンチや植栽があると良い。

下井草駅周辺まちづくりの「これまで」と「これから」

【杉並区】

【地域】

平成23年



平成26年



平成28年



令和4年



令和5年



令和6年



令和7年



未定



西武新宿線沿線各駅周辺地区
まちづくり方針の策定

下井草駅周辺地区
まちづくり協議会を設立

下井草駅周辺地区
まちづくり構想を区へ提案

下井草駅周辺地区まちづくり
オープンハウス開催（2回）

下井草駅周辺まちづくり
ワークショップ開催（1回）

下井草駅周辺地区まちづくり
オープンハウス開催（4回）

下井草駅周辺まちづくり
ワークショップ開催（6回）

下井草駅周辺地区まちづくり
オープンハウス開催（1回）

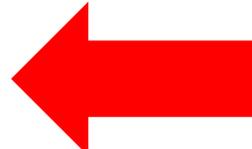
（仮称）下井草まちづくりラボ
開催（6回）

（仮称）下井草まちづくりラボ
開催（4回）

下井草駅周辺地区まちづくり
オープンハウス開催（1回）

現在

下井草のまちの方針・取組の方向性について意見交換



（仮称）下井草駅周辺
まちづくり計画策定

住民主体のまちづくり活動

計画策定と
住民活動
の連携

まちの将来像の実現